

## 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会（第2回） 議 事 要 旨

■日 時：令和6年9月30日（月） 14:00～16:50

■場 所：朝倉市総合市民センター（ピーポート甘木）

■出席者：（委 員）古賀委員長、乾委員、嶋田委員、中島委員、西野委員、広渡委員、塚原委員  
（Web参加）真鍋委員

（事務局）7名

（オブザーバー）朝倉市

### ■配布資料：

- ・議事次第
- ・資料－1 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会出席者名簿
- ・資料－2 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会規約
- ・資料－3 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会の公開方法について
- ・資料－4 事業に関連する寺内ダム再生事業の環境影響評価対応方針
- ・資料－5 筑後川水系ダム群連携環境保全委員会（第1回）議事要旨
- ・資料－6 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会（第2回）説明資料

### ■審議内容等：

#### 1) 寺内ダム再生事業の環境影響評価対応方針について

資料－4（事業に関連する寺内ダム再生事業の環境影響方針）について事務局から説明し、委員の了承を得た。主な意見は下記の通り。

- ・国の方針でネイチャーポジティブが推進されていることを踏まえて、事業を進めていく必要がある。
- ・福岡県のレッドデータブックの改訂が予定されていることから、それを念頭に環境影響評価を進める必要がある。

#### 2) 筑後川水系ダム群連携環境保全委員会（第1回）議事要旨

資料－5（筑後川水系ダム群連携環境保全委員会）について事務局から説明し、委員の了承を得た。主な意見は下記の通り。

- ・ダム群連携事業供用後の佐田川上流の流量変化に伴う影響を適切に把握するため、現在（事業実施前）の流量変化をなるべく多く収集しつつ、木和田地点の流況変化について一定期間の経時的な変化を含めた説明をすることが望ましい。

### 3) 筑後川水系ダム群連携事業環境影響評価について

事務局から筑後川水系ダム群連携事業の環境影響予測、評価結果（水質、地下水の水位を除く）について事務局から説明し、委員の了承を得た。主な意見事項は下記の通り。

- ・ダム群連携事業においても、ネイチャーポジティブの観点から事業を進める必要がある。また、環境レポートには、ネイチャーポジティブ推進への方策や提案についてとりまとめると良い。
- ・外来生物が迷入した場合の実施可能な対応について整理した方が良い。
- ・小石原川ダムの調査で確認されている希少種についても確認し、本事業範囲で確認されていないものについて整理した方が良い。
- ・外来生物への対応として、植生回復のための「郷土種の利用」ではなく、「地域性系統を考慮した在来種の利用」とした方が良い。
- ・ダム下流の影響を議論するうえで、植物プランクトンが導水によってどのように変化するのか確認することが望ましい。

### 4) その他

事業予定地である朝倉市がオブザーバーとして出席し、ダム群連携事業に伴うダム運用、外来種の拡散防止対策及び建設発生土の自然由来重金属に関して、事業者が実施する対応に注目しており、委員会で議論していただきたいとの要望があった。

以 上